

## 自己評価総括書

令和 3 年 8 月 6 日  
尾道市立高西中学校

1 ミッション

「中学校区で取り組む『志プロジェクト』の推進

2 ビジョン

高い志とふるさとに誇りを持ち「知りたい・学びたい・挑戦したい」があふれる学校

- ふるさと学習, キャリア教育を推進する学校
- 生徒の可能性を引き出し, 磨き, 高める学校
- 安全で, 安心して任せられる学校
- 教職員がやりがいを持って活動している学校

3 重点課題における成果と課題

(1) 自ら学習する生徒の育成 → 授業改善のカリマネの実践

① 確かな学力の定着と意欲を引き出す授業の創造

② 「わかる・できる」授業の展開

【「主体的・対話的で深い学び」の実現】

○ 毎月研究授業を実施し, 協議したことを通信としてまとめ, 校内研究を積み上げた。

○ 本質的な問いや単元を貫く問い, 各教科で働かせたい見方・考え方を意識した単元構想図を作成した。

【高西授業スタイルの徹底】

● めあての提示と振り返りの実施はできているが, 課題設定が生徒の学びたいという意欲を十分に引き出すことができていない。 ⇒ 【改善策①】

● 協働学習を取り入れてはいるが, 「自分の考えをもたせること」や「考えを発表すること」に対して, 教員の手立てが必要である。 ⇒ 【改善策②】

(2) 思いやりのある生徒の育成 → 集団づくりのカリマネの実践

① 学級力向上プロジェクトを軸とした学級力アンケートの活用

教員は4月に作成した学級経営案をもとに学級経営を行っている。特に学級力アンケートを中心に学級の現状を把握し, 学級委員会を中心に話し合いを進めることができた。各学級のカリキュラム・マネジメントを回しながら学級経営を進めている成果が見られた。

② 委員会活動をはじめとしたよりよい学校づくりに向けた生徒会活動

生徒は係や委員会活動に対して責任を持って取り組んでいるということに対して肯定的である。それに対して, 教員アンケートから, 活動を計画的に仕組むことが十分ではないことが示された。 ⇒ 【改善策③】

③ 学級力を踏まえた話し合い活動の推進

全校学活を通して学校全体で計画的に話し合い活動を行うことができた。また, 学級委員会と連動しながら生徒主体の活動を仕組むことができた。

4 今後の取組の方向、改善策等

【改善策①】 生徒の目線にたち, 資料を効果的に提示しながら, 既習事項とのズレや, 新たな発見を意識し, 生徒が「なぜだろう」「学んでみたい」と思わせる導入を目指す。

【改善策②】 個人思考の際の資料や視点を十分に提示することや, 思考ツールを効果的に活用すること。発表の型やルールを明確に示すことを重点的に進めていく。

【改善策③】 今後は, 各学級単位でそれぞれの課題や状況に応じて, 自律的に話し合いを進めていくことができるように計画していく。

